

会社情報	トップメッセージ	HINO 基本理念	サステナブルな社会の実現に向けて	日野の環境経営	SDGsと日野の戦略・取り組み	CSR マネジメント	トピック	ESGの取り組み			
								環境	社会	企業統治	ESGデータ集・その他

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン 6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント
各種環境データ その他の活動

ESGの取り組み

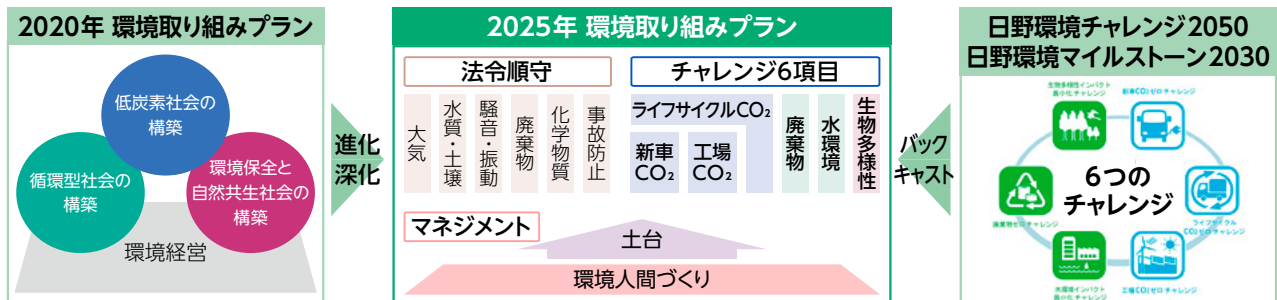
Environment(環境)

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画)

日野自動車では、社の基本理念や日野地球環境憲章などの上位方針、社会動向を踏まえた長期的なビジョンを具現化するためのアクションプラン「環境取り組みプラン」を策定し、環境負荷低減活動に取り組んでいます。1993年に第1次「環境取り組みプラン」を策定し、以降5年ごとに目標を見直し実行してきました。

本年度、新たな5ヶ年実行計画である「2025年環境取り組みプラン」を策定しました。本プランでは、「日野環境チャレンジ2050」および「日野環境マイルストーン2030」のバックキャストと、「2020年環境取り組みプラン」のPDCAから、『環境チャレンジ6項目』・『法令順守』・『マネジメント』を3つの柱に設定しました。カーボンニュートラルを代表とした地球規模の課題に向き合い、サステナブルな社会の実現に貢献するため、チーム日野一丸となって取り組みます。

◆「環境取り組みプラン」の体系



2020年 環境取り組みプラン		
低炭素社会の構築	製品	● 車両CO ₂ /燃費性能の向上 ● クリーンエネルギー車開発の推進
	生産・物流	● 生産活動におけるCO ₂ 排出量の低減 ● 物流活動における輸送効率の追求とCO ₂ 排出量の低減
	販売・アフター	● 販売分野におけるCO ₂ 排出量の低減
循環型社会の構築	製品	● 希少資源を使用しない技術開発 ● リサイクル率を考慮した新型車の開発
	生産・物流	● 生産・物流における廃棄物の低減と資源の有効利用 ● 生産活動における水使用量の低減 ● 物流活動における梱包包装資材の低減と資源の有効利用
共生社会の構築 環境保全と自然	製品	● 各地域の都市大気改善(排ガス低減) ● 環境負荷物質のさらなる削減
	生産・物流 社会貢献	● 生産活動における環境負荷物質(VOC)低減 ● 各地域・事業所に根差した生物多様性保全活動
環境経営	マネジメント	● 連結環境マネジメントの強化、推進 ● ビジネスパートナーと連携した環境活動推進資源の有効利用 ● グローバル社員教育・啓発活動の強化 ● 環境情報積極開示とコミュニケーションの充実

2025年 環境取り組みプラン		
環境チャレンジ6項目	ライフサイクルCO ₂ ゼロ	目標：13年度比 ▲12% (単位輸送量あたり) ● 「つくる・運ぶ・使う・廃棄する」全プロセスでCO ₂ 排出量削減(各国・各業界との連携)
	新車CO ₂ ゼロ	目標：13年度比 ▲15% (単位輸送量あたり) ● 電動化車両の開発、市場導入 ● ディーゼル燃費の向上 ● 輸送効率の向上
	工場CO ₂ ゼロ	目標：13年度比 ▲30% (グローバル総排出量) ● 革新技術の導入 ● 日常の改善 ● 再生可能エネルギーの導入
	水環境インパクト最小化	● 使う水は少なく ● 還す水はきれいに
	廃棄物ゼロ	目標：18年度比 ▲12% (グローバル総排出量) ● 廃棄物ゼロに向けた削減 ● 古い車を活かした新しい車づくり (Car to Car) ● 梱包包装資材、包装プラスチック材の削減
	生物多様性インパクト最小化	● 緑と水の保全、自然と共生する工場づくり
法令順守	大気	● 製品・生産における大気汚染防止の対応
	水質・土壌	● 生産における排水管理、地下浸透防止 ● 土地取引や変更時の汚染拡大防止
	騒音・振動	● 製品・生産における騒音・振動の低減
	廃棄物	● 廃棄物の適正管理
	化学物質	● 製品・生産での化学物質管理、負荷物質低減
	事故防止	● 環境事故未然防止(違反・苦情、異常・申入れゼロを目指す)
マネジメント	● 環境人間づくり(環境経営の発信と社内教育)	

会社情報	トップメッセージ	HINO 基本理念	サステナブルな社会の実現に向けて	日野の環境経営	SDGsと日野の戦略・取り組み	CSR マネジメント	トピック	ESGの取り組み
								環境 社会 企業統治 ESGデータ集・その他

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン 6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント
各種環境データ その他の活動

2020年 環境取り組みプラン 低炭素社会の構築



取り組み項目	計画内容・目標 等	2016～2020年の実績／今後の課題
製品	車両CO₂／燃費性能の向上 <ul style="list-style-type: none"> ● 世界トップクラスの燃費水準の達成を目指した技術開発 <ul style="list-style-type: none"> 【日本】 <ul style="list-style-type: none"> ・次期規制に向けた燃費向上技術の開発 ・HEVの性能向上 【米国】 <ul style="list-style-type: none"> ・2020年のGHG規制に向けた技術の開発 【欧州】 <ul style="list-style-type: none"> ・次期規制に向けた燃費向上技術の開発 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「日野プロフィア」にAIを活用した世界初のハイブリッドシステムを搭載し、従来の日野プロフィアよりも燃費向上とCO₂排出を低減 ● いすゞ自動車と共同で高燃費の国産初ハイブリッド連節バスを開発し、大量輸送効率化を実現 ● コネクティッドサービス「HINO CONNECT」の提供開始、省燃費サポートツールのエコツリーレポートなどにより、お客様のエコドライブをサポート
	グリーンエネルギー車開発の推進 <ul style="list-style-type: none"> ● 電動化車両の研究開発 <ul style="list-style-type: none"> 【FCEV】・FCEVの開発及び限定発売 【BEV】・トラック、バスの実用化に向けた研究、開発 ● 代替燃料対応技術の研究推進 <ul style="list-style-type: none"> ・バイオ燃料、その他代替燃料への対応技術開発 	<ul style="list-style-type: none"> ● トヨタ自動車と開発したFCEV路線バス「SORA」を市場導入、東京都で運行開始 (今後の課題) ● 志を同じくする同業／異業の仲間とのアライアンスにより電動車両開発を加速し、BEV・FCEVの早期市場導入・普及を目指す
生産・物流	生産活動におけるCO₂排出量の低減 <ul style="list-style-type: none"> ● 低CO₂生産技術の導入と日常改善による原単位、総量双方でのCO₂低減活動 ● 省エネ革新技術及び再生可能エネルギーの導入 <p>〈目標〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 【グローバル】 <ul style="list-style-type: none"> ・台当たり排出量／2008年度比 26%低減 【国内連結】 <ul style="list-style-type: none"> ・台当たり排出量／2008年度比 24%低減 【自社】 <ul style="list-style-type: none"> ・台当たり排出量／2008年度比 30%低減 ・排出量／2020年度原単位目標×活動量 <ul style="list-style-type: none"> ● CO₂以外の温室効果ガスの管理 	<ul style="list-style-type: none"> ● 省エネ革新技術の導入でCO₂排出を削減 設備動力源モーターの高効率化、循環水ポンプのインバーター制御化、超音波洗浄機の導入、焼き入れ炉断熱塗料塗布 ● 太陽光発電設備の設置(新田工場、古河工場) (実績)* <p>【グローバル】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台当たり排出量／2008年度比 27%低減 <p>【国内連結】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台当たり排出量／2008年度比 28%低減 <p>【自社】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台当たり排出量／2008年度比 37%低減 ・排出量／2020年度排出量 158千t <p>(今後の課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 中長期目標達成に向けて更なる技術確立を行いCO₂削減実施、併せて再エネ外部購入を推進
	物流活動における輸送効率の追求とCO₂排出量の低減 <ul style="list-style-type: none"> ● 輸送効率の一層の改善によるCO₂低減活動の推進 ● 工場間物流ルート見直し及び積載率向上、トレーラー輸送による効率化 ● 低燃費車両の採用 ● 補給部品輸送の効率化 <p>〈目標〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 【国内連結】 <ul style="list-style-type: none"> ・輸送量当たり排出量／2008年度比 26%低減 【海外】 <ul style="list-style-type: none"> ・各国トップレベルの活動推進 	<p>(工場間物流効率化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 積載車の効率輸送(完成車) ● 生産地コンテナ詰めによる拠点間輸送の削減 ● 海上コンテナ継続使用の推進 (実績) <p>【国内連結】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸送量当たり排出量／2008年度比 28%低減 ・工場移転の影響を把握し低減活動継続 <p>【海外】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各国個別に低減活動推進中 <p>(物流業界の輸送効率化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● NEXT Logisitcs Japan社での荷主・運送事業者車両メーカーの垣根を超えた、最適な混載パターン、荷物マッチング追求の事業化を19年12月に開始し、輸送効率化によりCO₂排出を低減(第22回物流環境大賞「特別賞」を受賞)
販売・アフター	販売分野におけるCO₂排出量の低減 <ul style="list-style-type: none"> ● 国内販売拠点における年率1%以上の計画的なエネルギー原単位の低減 ● お客様のCO₂排出量低減支援 	<ul style="list-style-type: none"> ● 省エネ型照明の導入などにより削減 総整備台当たりエネルギー原単位／2015年度比 9.6%低減

*報告値、派生値、および入手可能なデータから算出された推定値です。実際の排出量は異なる可能性があります。

会社情報	トップメッセージ	HINO基本理念	サステナブルな社会の実現に向けて	日野の環境経営	SDGsと日野の戦略・取り組み	CSRマネジメント	トピック	ESGの取り組み	
								環境	社会 企業統治 ESGデータ集・その他

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン 6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント
各種環境データ その他の活動

2020年 環境取り組みプラン 循環型社会の構築



取り組み項目	計画内容・目標等	2016～2020年の実績／今後の課題	
製品	希少資源を使用しない技術開発	● 排出ガス低減触媒の貴金属低減 ● 軽油によるNOx選択還元反応を用いたディーゼル排気浄化システムを開発 →2020年度触媒学会賞(技術部門)を受賞 (受賞理由) ディーゼル排出ガス低減による大気環境改善と、長年の研究開発による本分野の技術発展への貢献	
	リサイクル率を考慮した新型車の開発	● 解体性を考慮した取り付け構造への取り組み ● リサイクルを考慮した、解体が容易な設計構造採用 ● 車体軽量化による資源の有効利用に寄与	
生産・物流	生産・物流における廃棄物の低減と資源の有効利用	● 廃棄物低減技術の導入と日常改善活動における低減活動の推進 ● 歩留り向上等、発生源対策による資源有効活用促進 ● 日野グループ内での資源活用推進 <目標> 【国内連結】 ・台当たり発生量／2008年度比 43%減 ・最終処分量ゼロ* 【海外】 ・排出量低減につながる管理(数値管理) *焼却灰も含めた埋立処分量が、廃棄物等総排出量(廃棄物量+リサイクル量)の0.5%以下	● 廃棄物分別徹底、廃プラスチック有価物化 ● 塗料カスの自動回収装置導入(羽村工場) ● 製品不良率、再試験回数削減(新田工場) ● 国内関連会社への再生砂売却(新田工場) <実績> 【国内連結】 ・台当たり発生量／2008年度比 41%低減 ・最終処分量比率／0.11% ・過去 市場変化により有価物が廃棄物に変更となり、原単位が悪化。2020年度までに挽回したものの目標未達。今後、早期に計画を見直し、更なるリサイクル化の推進等、低減活動を継続 【海外】 ・廃棄物／各国個別に目標設定し低減推進
	生産活動における水使用量の低減	● 各国各地域の水環境事情を考慮した水使用量低減活動の推進 ● 省水技術の導入と日常改善による節水推進 <目標> 【国内連結】 ・台当たり使用量／2008年度比 40%減 【海外】 ・排出量低減につながる管理(数値管理)	● 地下埋設配管修繕、漏水対応 ● ドライブスの導入(古河工場) ● 塗装ライン洗浄排水再利用(古河工場) <実績> 【国内連結】 ・台当たり使用量／2008年度比 38%低減 ・2020年度は生産台数減少により原単位が悪化し目標未達。今後は生産変動の影響を受けにくい、無駄のない工程作りを目指し、循環利用を含む節水活動を推進 【海外】 ・各国個別に目標設定し低減推進
	物流活動における梱包包装資材の低減と資源の有効利用	● リターナブル化、包装材の軽量化による梱包包装資材の低減 ● リターナブルラック使用対象国、範囲拡大 ● 補給部品梱包方法の見直し <目標> 【国内連結】 ・台当たり使用量／2008年度比 57%減 【海外】 ・梱包資材使用量の把握と低減活動拡大	● 木枠材から段ボール材へ変更 ● 段ボールをリターナブルBOXに変更 ● 梱包充填率を上げて段ボール使用量削減 <実績> 【国内連結】 ・出荷容積当たり使用量／2008年度比 72%低減 →今後は、さらなる低減活動を推進 【海外】 ・各国個別に低減活動推進中

会社情報	トップメッセージ	HINO基本理念	サステナブルな社会の実現に向けて	日野の環境経営	SDGsと日野の戦略・取り組み	CSRマネジメント	トピック	ESGの取り組み			
								環境	社会	企業統治	ESGデータ集・その他

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン 6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント
各種環境データ その他の活動

2020年 環境取り組みプラン 環境保全と自然共生社会の構築



取り組み項目	計画内容・目標 等	2016～2020年の実績／今後の課題
製品	<p>各国各地域の都市大気環境改善に資する排ガス低減</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各国、各地域の大気環境改善に資する排出ガス車の導入 <p>【日本】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年排ガス規制対応車の市場導入 ・平成28年以降の次期排ガス規制の対応技術の研究開発 <p>【米国】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・US13適合車の市場導入および、US16に向けた開発の推進 <p>【欧州・先進国】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・EURO6の開発と市場導入 <p>【一般国】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低排出ガス車(EURO4・5レベル)の導入推進 	<ul style="list-style-type: none"> ●小型トラック「日野デュトロ」、小型バス「日野リエッセII」、大型トラック「日野プロフィア」トラクターシリーズ等を一部改良
	<p>環境負荷物質のさらなる削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各国の規制物質の増加に伴う情報の収集、管理と代替材料への先行切り替え 	<ul style="list-style-type: none"> ●規制物質の増加に早期に対応すべく、部品含有化学物質の情報収集を実施 ●グローバルでの化学物質管理体制の強化・推進
生産・物流	<p>生産活動における環境負荷物質(VOC)の低減</p> <ul style="list-style-type: none"> ●日常改善によるVOC低減活動を継続的に推進 ●塗装工程における塗料、シンナー使用量低減等 <p>〈ボデー塗装目標〉</p> <p>【日野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塗装面積当たりVOC排出量／22g/m² <p>【海外】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・VOC排出量低減活動を展開 <p>〈その他塗装目標〉</p> <p>【日野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年1年単位の低減目標設定 <p>【海外】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排出量低減につながる管理(数値管理) 	<ul style="list-style-type: none"> ●塗装吹付け時の塗着効率の向上 ●色替え時・清掃時の洗浄シンナー回収 ●自動塗装時の塗装範囲の適正化 <p>〈実績〉</p> <p>【日野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塗装面積当たりVOC排出量／15g/m² →今後、塗装設備改装計画と連動した取り組みと日常改善によるVOC低減を継続的に推進 <p>【海外】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排出量の定量管理とトレンド管理による増減要因分析を実施
社会貢献	<p>各地域・事業所に根差した生物多様性保全活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ●生物多様性ガイドラインに基づく取り組み推進 ●各国、各地域の周辺生態系特性に配慮した体系的活動(森林保全、在来種保護等) ●地域の住民や子どもと共に取り組む環境保全活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ●各国、各地域で周辺生態系に配慮した取り組み実施 <p>【日本】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の団体/自治体と連携した崖線整備(羽村工場) ・ヤギによる除草(古河工場) ・日野自動車70周年の森管理/生き物観察会開催 <p>【海外】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工場敷地等で植樹実施(タイ、インドネシア、パキスタン、フィリピン等) ・近隣の学校にて学習会の開催(パキスタン)

会社情報	トップメッセージ	HINO基本理念	サステナブルな社会の実現に向けて	日野の環境経営	SDGsと日野の戦略・取り組み	CSRマネジメント	トピック	ESGの取り組み		
							環境	社会	企業統治	ESGデータ集・その他

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン 6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント
各種環境データ その他の活動



2020年 環境取り組みプラン **環境経営**

取り組み項目	計画内容・目標等	2016～2020年の実績／今後の課題
マネジメント	連結環境マネジメントの強化、推進 【国内外連結子会社】 <ul style="list-style-type: none"> ● 各国、各地域でNo.1の環境パフォーマンス確保に向けた活動の実施 ● 各国、各地域での環境法令の順守と環境リスク未然防止活動の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 国内外関連会社の環境パフォーマンスおよび改善事例をレポートへまとめ定期発行 ● 日野製品のライフサイクル全体を考慮した環境マネジメント、環境リスク未然防止活動の要請 ● 海外関連会社の活動事例・データ等のクラウド管理、活動レベル自己評価ツール運用 ● 今後もさらなるレベルアップを目指し、継続して研鑽会や監査会等を開催
	ビジネスパートナーと連携した環境活動の推進(サプライヤー) 【仕入先】 <ul style="list-style-type: none"> ● 環境法令順守と部品、原材料、副資材、生産設備等に含まれる環境負荷物質の管理充実および環境パフォーマンス向上の要請 	<ul style="list-style-type: none"> ● ライフサイクルにおける環境負荷物質の管理および環境パフォーマンス向上に取り組み、特に地球温暖化の観点からカーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを実施 ● 個社ごとに環境アンケートを実施し、環境負荷物質管理と取り組みの現状を共有 ● グローバルな環境法令の動向をにらみ、環境負荷物質に対する社内管理体制を強化・運用を開始 ● 「グリーン調達ガイドライン」を改訂 サプライヤーへ環境への配慮・協力を要請順守状況や環境パフォーマンス状況等を定期的に確認実施
	ビジネスパートナーと連携した環境活動の推進(販売店、ディストリビューター) 【国内販売】 <ul style="list-style-type: none"> ● 販売会社環境マネジメントシステムによる環境活動の推進 【海外販売】 <ul style="list-style-type: none"> ● 環境負荷の把握と意識啓発による負荷低減活動の実施 	【国内販売】 <ul style="list-style-type: none"> ● 新設2拠点含む全国223拠点にて環境改善活動を実施 ● 改善・是正を支援し、全国223拠点にてEMD認定済み 【海外販売】 <ul style="list-style-type: none"> ● 海外非生産拠点との月次データ共有 ● 環境月間(6月)に合わせ意識啓発活動を実施
	<ul style="list-style-type: none"> ● 従業員向け階層別環境教育 ● 意識啓発活動の体系的な実践 	<ul style="list-style-type: none"> ● ISO内部環境監査教育を実施 ● 環境月間(6月)に社長メッセージを展開 ● 今後も従業員参加型イベント企画等、環境意識向上に向けた取り組みを積極推進
	<ul style="list-style-type: none"> ● 各国、各地域での製品環境技術情報の提供充実(各種展示会への出展等) ● 各国、各地域でのサステナビリティレポート等の発行による情報公開の充実および環境コミュニケーション活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境に係る取り組みや新技術にかかわるトピックスをニュースリリースで積極発信 ● 米国日野が「プロジェクトZ」を発表 — 米国におけるゼロ・エミッションへの道のり ● 燃料電池大型トラックの走行実証を2022年春頃より開始 ● 水素バリューチェーン推進協議会へ参画 ● トヨタ・日野が燃料電池小型トラックの導入を目指した取り組みを開始 ● 「日野プロフィア ハイブリッド」経済産業大臣賞(輸送分野)受賞 ● 毎年公式ホームページにサステナビリティレポートを発行し、情報および環境推進活動の成果を公開

会社情報	トップメッセージ	HINO基本理念	サステナブルな社会の実現に向けて	日野の環境経営	SDGsと日野の戦略・取り組み	CSRマネジメント	トピック	ESGの取り組み
							環境	社会 企業統治 ESGデータ集・その他

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン 6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント
各種環境データ その他の活動




2025年 環境取り組みプラン

大項目	取り組み項目	実行計画・目標 等	
環境チャレンジ6項目	ライフサイクルCO ₂ ゼロチャレンジ 	「つくる・運ぶ・使う・廃棄する」すべてのプロセスでCO ₂ 排出量削減(各国・各業界との連携)	<p>目標：13年度比 ▲12% (単位輸送量*あたり) *1トンの荷物を1km or 1人を1km輸送する際のCO₂排出量</p> <ul style="list-style-type: none"> ●つくる(素材、部品、燃料製造) <ul style="list-style-type: none"> …車両生産は工場CO₂で取り組み ・材料使用量削減、部品点数削減 ・低CO₂材料の開発・使用拡大 ・リサイクル材料使用拡大 ・サプライヤー含めステークホルダーの協力を得た削減活動 ・各国政府・燃料業界と連携した再エネ・グリーン水素の普及活動 ●運ぶ(部品物流) <ul style="list-style-type: none"> ・工場間物流や完成車輸送ルート見直し及び積載率向上 ・トレーラー輸送による効率化、モーダルシフト ・補給部品輸送の効率化 ●使う …新車CO₂における取り組み ●廃棄する(含む メンテナンス) <ul style="list-style-type: none"> ・販社でのHEV・BEV社用車、LED化によるCO₂削減 ・販社拠点の再エネ発電設備の導入、再エネ電力の購入 ・環境配慮設計の実施(「解体し易く、リサイクルし易い」設計)
	新車CO ₂ ゼロチャレンジ 	電動化車両の開発、導入	<p>目標：13年度比 ▲15% (単位輸送量あたり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電動化車両の技術開発と市場導入 <ul style="list-style-type: none"> ・FCEV：FCEVの開発及び大型FCEVトラックなどの実証実験 ・BEV：BEVの開発および <ul style="list-style-type: none"> 小型BEVトラック「日野デュトロ Z EV」、 小型BEVバス「日野ポンチョ Z EV」などの市場導入
		ディーゼル燃費の向上	<ul style="list-style-type: none"> ●各国の新たな燃費規制に対応する技術開発と市場導入 <ul style="list-style-type: none"> ・日本：JH25規制に対応する技術の開発と市場導入 ・米国：EPAおよびCARB2024に対応する技術の開発と市場導入 ・欧州：次期規制に向けた燃費向上技術の開発推進 ●代替燃料対応技術の研究推進 <ul style="list-style-type: none"> ・カーボンニュートラル燃料に対応する技術開発
		輸送効率化への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●物流業界における輸送効率の最大化 <ul style="list-style-type: none"> ・業種業態を超えた様々な荷物の混積による積載率の向上 ・ダブル連結トラックの活用による大量輸送の実現 ・車両×荷物×ドライバー情報の活用による物流効率化
	工場CO ₂ ゼロチャレンジ 	革新技術の導入	<p>目標：13年度比 ▲30% (グローバル総排出量)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新車種対応、老朽化更新時の低炭素新技術導入 例) エアレス塗装、ドライブース 等 ●社外の新技术動向の調査と導入検討
		日常改善の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●日々の改善活動の積み重ねによるCO₂排出低減の最大化 例) 作業時間の短縮、設備集約、工程寄せ止め 等 ●高効率機器の導入によるCO₂削減 例) LED、モータ、空調設備 等
		再生可能エネルギーの導入	<ul style="list-style-type: none"> ●自社敷地内(オンサイト)への太陽光パネル設置促進 ●各国/地域毎の電力事情を考慮した最適な再生可能エネルギー電力(太陽光・水力発電)への転換

会社情報	トップメッセージ	HINO 基本理念	サステナブルな社会の実現に向けて	日野の環境経営	SDGsと日野の戦略・取り組み	CSR マネジメント	トピック	ESGの取り組み		
							環境	社会	企業統治	ESGデータ集・その他

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン 6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント
各種環境データ その他の活動

2025年 環境取り組みプラン

大項目	取り組み項目	実行計画・目標 等	
環境チャレンジ6項目	水環境インパクト最小化チャレンジ 	目標:水使用の無駄を省いた削減の取り組み(全グローバル工場) 使う水は少なく	<ul style="list-style-type: none"> ● 塗装ドライブース 等、省水新技術の積極導入 ● 水漏れ箇所の修繕や散水、シャワー水量の適正化等、日常改善による節水推進 ● 各国各地域の水環境事情を考慮した水量低減活動と水使用リスク評価の実施
		還す水はきれいに	<ul style="list-style-type: none"> ● 各国各サイトにおける排水のリスク評価の実施
		目標:18年度比 ▲12% (グローバル総排出量)	
	廃棄物ゼロチャレンジ 	廃棄物ゼロに向けた削減	<ul style="list-style-type: none"> ● 革新的な新技術導入検討 例) 廃砂再生設備、(廃プラ 等)燃料化設備 等 ● 日常改善の活動推進 例) 歩留り向上による発生源対策、脱水での減容化 等 ● 有価物化やリサイクル化による削減
		古い車を活かした新しい車づくり(Car to Car)	<ul style="list-style-type: none"> ● レアメタル、天然資源の回収技術開発 ● リサイクル率向上技術の開発
		梱包包装資材の削減	<ul style="list-style-type: none"> ● 使用量低減に向けた梱包方法の改善、リターンブル化の拡大 ● 梱包包装資材のプラスチック材の代替化 目標:国内連結 単位容積当たり梱包資材量 18年実績以下
	生物多様性インパクト最小化チャレンジ 	目標:「自然と共生」するモデル工場を2拠点設置	
		緑と水の保全、自然と共生する工場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 緑と水の保全を主とした事業所内外の植樹、希少種保護、河川清掃の活動推進 ● 従業員や地域の学校 等と共に取り組む保全活動の推進 例) 従業員教育、近隣学校との環境学習会 等

会社情報	トップメッセージ	HINO 基本理念	サステナブルな社会の実現に向けて	日野の環境経営	SDGsと日野の戦略・取り組み	CSR マネジメント	トピック	ESGの取り組み		
							環境	社会	企業統治	ESGデータ集・その他

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン 6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント
各種環境データ その他の活動

2025年 環境取り組みプラン

大項目	取り組み項目	実行計画・目標等	
法令順守	大気	製品における大気汚染防止の対応	<ul style="list-style-type: none"> ● NOx、PM、VOC 等の製品における排ガス法令基準値の順守 ● 各国、各地域の大気環境改善に資する低排出ガス車の導入 <ul style="list-style-type: none"> ・日本 : 14次答申(PN規制)対応車の市場導入 ・米国 : EPAおよびCARB2024適合車の市場導入 ・一般国: 低排出ガス車(EURO4,5,6レベル)の導入推進 ● 次期規制 等にむけた研究開発の推進
		生産における大気汚染防止の対応	<ul style="list-style-type: none"> ● NOx、PM、VOC 等の設備における排ガス法令基準値の順守 ● 塗装工程におけるシンナー回収、塗着効率の向上による、VOC 排出量の低減 ● 目標: 単位面積当たり排出量 18年実績以下
	水質・土壌	生産における排水管理、地下浸透防止	<ul style="list-style-type: none"> ● 排水における自主基準値の設定と、監視頻度を増やすことによる排水質の向上
		土地取引や改変時の汚染拡大防止	<ul style="list-style-type: none"> ● 新規土地購入や売却、賃借時の規定に基づく確認実施 ● 敷地内土地改変時における汚染度合いの把握と届出実施
	騒音・振動	製品における騒音・振動の低減	<ul style="list-style-type: none"> ● 各国、各地域の車両騒音法令順守
		生産における騒音・振動の低減	<ul style="list-style-type: none"> ● 工場設備や敷地境界での騒音、振動の低減、基準順守に向けた取り組み ● 新規工場や設備導入時の事前検討と導入後の効果確認
	廃棄物	廃棄物の適正管理	<ul style="list-style-type: none"> ● 一般廃棄物、産業廃棄物の契約締結と適正な委託処理
	化学物質	製品における化学物質管理、負荷物質低減	<ul style="list-style-type: none"> ● 製品に含有する化学物質のデータによる100%管理 ● 素材や部品に使用されている規制物質の確実な切り替え
		生産における化学物質管理、負荷物質低減	<ul style="list-style-type: none"> ● 生産工場で使用する補助材、副資材の禁止物質管理 ● 補助材、副資材の使用量低減や代替化による環境負荷低減
	事故防止	事故未然防止(違反・苦情、異常・申入れゼロ)	<ul style="list-style-type: none"> ● 過去事象の要因解析による日野グループ内各拠点への横展 ● 環境人間づくりによる液物取扱い作業等の標準化
マネジメント	環境人間づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境人間づくりのルール化と各工場への展開 ● 従業員に向けた階層別の環境教育の実施、人材育成の推進 ● 意識啓蒙活動の体系的な実践 	